

HNS研究所

四体銅像の除幕送出式

小松所長は来年の台児荘大戦

65周年記念行事基金百万円を寄付

小松電機産業(株) (松江市乃木福富町七三五―一八八 松江湖南テクトパーク内 小松昭夫社長) が運営するHNS人間自然科学研究所(小松昭夫所長)が、日中国交正常化三十周年を記念して主催した「第四回訪中文化経済交流団」が九月四、八日、百名近くが参加して山東省を訪問した。今回の訪問で、HNS研究所と山東省騰州市人民政府は、共同で自然健康法研究センター建設のため調印した。日中偉人の銅像を

日本に

中国を代表する思想家である孔子と孟子、その思想を受け出雲の治水に多大な貢献をした、周藤彌兵衛、清原太兵衛―21世紀は水の時代、より多くの人にこれらの偉人のことを知ってもらいたい、という目的で、HNS研究所では、前々回の交流団訪中の際に、中国画報協会を通じ、棗莊市に銅像製作を依頼していた。今回、銅像完成を記念して除幕送出式典が開催された。

台児荘大戦記念館に寄付
来年は、歴史的な「台児荘大戦」から65周年を迎える。交流団は「台児荘大戦記念館」を参観、小松所長が献花するとともに、来年に行われる台児荘大戦65周年記念行事基金として一〇〇万円を寄付した。

こうした活動に対して中国政
府からも高い評価を得ている。
小松所長の日中交流の促進を、
世界恒久平和の実現に繋がるも
のとして期待されている。

右から孟子像 孔子像 周藤
彌兵衛像 清原太兵衛像

九月七日に棗莊市招商局広場で行われた式典には、中国山東政協副主席の王久祐氏も出席した。この外、各界



一行は台児荘大戦記念館(右)を訪れた。大戦記念行事基金百万寄付(左)

